

北九州エコタウンで大型試験装置での グリーンLPガスの実証研究がスタート！

日本LPガス協会常任理事会5社で構成する一般社団法人日本グリーンLPガス推進協議会（代表理事：江澤和彦（ENEOS グローブ株式会社 代表取締役社長 社長執行役員）、事務局：日本LPガス協会）は今般、北九州市との間で同市若松区にある北九州エコタウンの土地の賃貸借契約を締結しました。

最先端の廃棄物処理技術をはじめ、資源リサイクル、新エネルギーなど幅広い環境関連技術を実証的に研究する施設が集積する同エコタウン内の「実証研究エリア」において、日本グリーンLPガス推進協議会は、日量5kgから10kgの大型試験装置の据え付けを今年度内に完了させた後、来春よりグリーンLPガス製造の実証研究を本格化させる予定です。

日本グリーンLPガス推進協議会では、今回の北九州エコタウンでの実証化によって、同協議会が北九州市立大学の藤元薫特任教授（東京大学名誉教授・HiBD 研究所所長）と連携して進めているグリーンLPガスの製造技術開発を一段と加速化し、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みを推進して行く考えです。

【北九州エコタウン周辺図および実験棟・研究棟完成図】



お問い合わせ先

日本LPガス協会 担当： 上平 (o-uehira@j-lpgas.gr.jp)

三木 (h-miki@j-lpgas.gr.jp)

三木田 (y-mikita@j-lpgas.gr.jp)

TEL：03-3503-5741/FAX：03-3580-7776